

日本分析化学会九州支部 2019年度 幹事会

日時：令和元年11月15日(金) 13時00分～15時40分

場所：九州大学医系キャンパス 総合研究棟1F 105セミナー室

出席者(敬称略・順不同)：高椋 利幸(監査)、浜瀬 健司(支部長)、森 健(幹事)、松田 直樹(監査)、戸田 敬(理事)、中村 博(参与)、脇田 久伸(参与)、石川 洋哉(常任幹事)、稲田 幹(常任幹事)、加地 範匡(副支部長)、川上 健次(常任幹事)、宗 伸明(常任幹事)、巴山 忠(庶務幹事/Anal. Sci. 編集委員)、増田 寿伸(常任幹事)、今坂 藤太郎(参与)、大平 慎一(幹事)、栗崎 敏(常任幹事)、黒田 直敬(次期支部長)、佐藤 しのぶ(幹事/分析化学編集委員)、田中 明(幹事)、田中 充(幹事)、中園 学(会計幹事)、井上 高教(幹事/ぶんせき編集委員)、井原 敏博(幹事)、松井 利郎(幹事)、原田 明(幹事)、満塩 勝(幹事)、加藤祐子(幹事)、佐藤 博(幹事)、高橋 幸奈(常任幹事)

議題(担当者)

会議に先立ち、支部長、副支部長、庶務幹事、会計幹事より自己紹介がなされた。

1 報告事項

1) 2019年度支部事業経過報告および予定

九州分析化学若手の会

第32回春の講演会(森世話人)

6月1日(土)に九州大学医系キャンパスにおいて開催された第32回九州分析化学若手の会春の講演会について、世話人の森先生(九州大学)より、提出された資料に基づいて事業報告と会計報告の説明がなされた。参加総数47名であり、盛会にて終了したと報告された。

第37回夏季セミナー(田中世話人)

7月26日(金)～27日(土)に佐賀県唐津市の佐賀県唐津市のHotel & Resorts SAGA-KARATSUにおいて開催された第37回九州分析化学若手の会夏季セミナーについて、世話人の田中幹事(九州大学)から事業報告と会計報告の説明がなされた。参加総数は137名であり、盛会にて終了したとの報告があった。

第60回分析化学講習会(高椋実行委員長)

8月6日(火)～9日(金)に九州大学伊都キャンパス・九州大学馬出キャンパス・福岡大学理学部・福岡市産学連携センターにおいて開催された第60回分析化学講習会について、実行委員長高椋先生(佐賀大学)から事業報告と会計報告(途中経過)がなされた。参加者数は61名で、全コースの受講者数はのべ160名であったことが報告された。12月12日(木)に第3回実行委員会を開催予定であるが、本年度の講習会事業は、約40万円程度の黒字が見込まれると報告された。講習会黒字傾向の要因は、一昨年度より開始した分散開催によるものが大きいものと考えられるとのことであった。さらに、講習会当日の台風接近についての対応についての説明がなされた。また、浜瀬支部長より、来年度の実行委員長は、加地先生(九州大学)にお務めいただくことが説明された。

機器分析ワークショップ（川上常任幹事）

岸川常任幹事（長崎大学）の協力で6月28日（金）に長崎大学薬学部において開催された機器分析ワークショップについて、川上常任幹事（(株)ジェイ・サイエンス西日本）から開催報告がなされた。また、11月29日に沖縄（琉球大学）にて開催予定の機器分析ワークショップについての案内がなされた。

2019年度九州分析化学会賞・奨励賞（宗選考委員長）

5月25日（土）に九州大学医系キャンパスにおいて開催された選考委員会について、選考委員長の宗 常任幹事（佐賀大学）から報告がなされた。8名の選考委員により、奨励賞候補者2名に対しては15分の発表と10分の質疑応答、学会賞候補者1名に対しては書類により選考が行われたことが説明された。審議の結果、いずれの候補者も満場一致で受賞対象者とする事が選考委員会において決定されたことが報告された。さらに、6月8日（土）開催の第一回常任幹事会において承認されたことも報告された。

【九州分析化学会賞】

松井 利郎先生（九州大学農学研究院）

【九州分析化学奨励賞】

藤 貴弘さん（佐賀大学大学院工学系研究科）

古庄 仰さん（九州大学大学院薬学府）

第56回化学関連支部合同九州大会（巴山庶務幹事）

7月13日（土）に北九州国際会議場において開催された第56回化学関連支部合同九州大会について、世話人の巴山（福岡大学）から報告がなされた。吉田秀幸先生（福岡大学）による依頼講演や、45件のポスター発表が分析化学のセッションで実施された。九州分析化学ポスター賞審査対象は37件で、ポスター賞審査員8名によって選考され、受賞者4名を決定したことが報告された。本年度の受賞者は以下の通りである。

【九州分析化学ポスター賞】

平野 一輝さん（九州工業大学大学院情報工学）

柴田 雅之さん（山口大学大学院創成科学）

嘉村 匠人さん（熊本大学大学院自然科学）

小野 啓一郎さん（九州大学大学院工学研究院）

また、来年度、第57回化学関連支部合同九州大会のスケジュールについても合わせて案内された。（発表申込 3/1～4/10、予稿原稿締切 5/15、大会当日 6/27）

2) 2019年度支部会計中間報告（中園会計幹事）

2019年度支部会計の途中経過について、中園会計幹事（九州大学）から報告がなされた。昨年度の幹事会にて、収入や支出の細目が不明であるとのご指摘があったため、一般会計と各事業の会計を別にして収支報告がなされた。

3) 本部・支部拡大連絡会議（加地副支部長）

9月11日（水）に千葉大学において開催された本部・支部拡大連絡会について、加地副支部長（九州大学）から報告がなされた。九州支部事業として、九州分析化学講習会、若手の会の活動を説明したことが報告された。

4) 理事会報告 (戸田理事)

7月2日(木)開催の第3回理事会について、提出された議事録に基づいて、戸田理事(鹿児島大学)から説明がなされた。まず、分析化学会発行の3誌についての説明がなされ、とくに「ぶんせき」誌についてはweb掲載が検討されていることが報告された。また、会員数減少の件や本部キャッシュフローなどについての説明がなされ、支部会計は黒字をベースに予算案を策定することが要請された。また、2020年度の支部配分費について、第79回分析化学討論会の収益の40%が支部に配分されることを含めて説明がなされた。その他、本部ホームページの刷新などの説明がなされた。

5) 各誌編集委員会

Analytical Sciences (巴山編集委員)

9月12日(木)開催の第4回編集委員会について、提出された編集委員会の議事録に基づいて、巴山編集委員(福岡大学)から説明がなされた。総説特集号の説明などの他、論文の寄稿が要請された。

分析化学 (佐藤編集委員)

9月12日(木)開催の第2回編集委員会について、佐藤編集委員(九州工業大学)より提出された編集委員会の議事録に基づいて、説明がなされた。刊行回数の変更(12号→8号)や若手論文作成支援制度などについて説明がなされた。

ぶんせき (井上編集委員)

7月19日(金)開催の第3回編集委員会について、井上編集委員(大分大学)より提出された編集委員会の議事録に基づいて、説明がなされた。ぶんせき誌企画案や2020年表紙デザインなどについて説明がなされた。

6) 第79回分析化学討論会開催報告 (竹中実行委員長 代理 佐藤幹事)

5月18日(土)、19日(日)開催の第79回分析化学討論会について、実行委員長の竹中先生の代理として佐藤幹事(九州工業大学)より報告がなされた。参加者は886名であり、本討論会の収支は黒字であったことが説明された他、討論主題として開催されたシンポジウムや高校生セッションの開催などについての説明がなされた。

7) その他

特になし

2. 審議事項

1) 2020年度支部事業計画案 (浜瀬支部長)

2020年度計画案について、浜瀬支部長(九州大学)から説明がなされた。第57回化学関連支部合同九州大会の開催は6月27日(土)に予定されていること、また、九州分析化学若手の会の事業である春の講演会及び夏季セミナーは、支部会計を鑑み、今後は同時開催とすることが提案され、承認された。また、第37回夏季セミナーの世話人である満塩幹事(鹿児島)から、セミナーの案内と予算の収支案について説明がなされた。

2) 2020 年度支部予算案(中園会計幹事)

2020 年度支部予算案について、中園会計幹事(九州大学)から説明がなされた。2019 年度予算案に基づいて計画されていることが説明され、承認された。

3) 支部役員の変更(梅木庶務幹事)

人事異動にともなう企業側幹事の変更(4名)について説明がなされた。

4) 2020 年度支部・本部関係役員(浜瀬支部長)

2020 年度支部・本部関係役員について、浜瀬支部長(九州大学)から説明がなされた。理事(戸田先生、熊本大学)、代議員ともに留任することが報告された。次年度支部長には黒田先生(長崎大学)、次次年度支部長には井原先生(熊本大学)が就任されることが説明された。その他、常任幹事について交代する場合は、事務局に連絡するよう依頼が行われた。

5) その他

2019 年度支部役員名簿(巴山庶務幹事)

11 月 15 日現在の役員名簿が配布された。加筆・修正が必要な場合は、事務局に連絡するよう依頼が行われた。

以上